

第3回子育てにやさしい移動に関する協議会 議事概要

日時：令和元年11月28日（木） 14：00～16：00

場所：中央合同庁舎3号館11階 特別会議室

出席者：別途出席者名簿を参照

主催者である安心生活政策課奈良課長の挨拶の後、秋山座長の進行のもと議事が進められ、意見交換が行われた。

<ベビーカー利用の円滑化について>

事務局から、ベビーカーマーク認知度調査についての報告、平成30年度及び令和元年度の取組、それを踏まえた今後の取組について報告。また、来年度のベビーカーマークポスターについての案を提示し、作成したポスターを駅や車内等に掲出する等の協力を依頼。

<子育て応援の取組について>

事務局から、10月に開催された東京都消費者月間交流フェスタの報告、子育てに関する案内用図記号のJIS登録についての報告、子ども用車椅子の理解・配慮の取組について報告。また、国土交通関係の各分野における子育て応援の取組について、本協議会の構成員のJR東海、日本民営鉄道協会、日本地下鉄協会、鉄道局、日本バス協会、全国ハイヤー・タクシー連合会、定期航空協会から現状について報告。子育て応援とうきょう会議から、とうきょう子育てスイッチの紹介がされた。

○ベビーカー利用者で、電車やバス内でストッパーをかけない人やバス車内にあるベルトで固定しない人が見受けられるが、とても危険なので、キャンペーン時のみならず、事業者側で利用方法及びマナーの啓発についてアナウンス等を行ってほしい。子育て応援の取組をするにあたって、事業者側と利用者側との関係をうまくやっていく必要がある。

○鉄道利用者におけるベビーカーの貸出しについて、1ヶ月間取組を行った際の反響が知りたいのが1点。

また、折りたためないベビーカー（二人乗り用）は、外出しづらい環境にある。タクシーを上手く活用する仕組みができればと考えている。

○想定よりも多い貸出しを行い好評だった。利用頻度としては、平日・休日偏りなく利用者がいた。

○このような貸出しの取組は、数年前から行っているところもあり、いくつか取組が

見られるので、そういったものを対比してみてもどうか。

ただ、首都圏と地方、又は観光地とでは様子が違うのではないかと思う。

⇒タクシーの車椅子乗車拒否の問題があり、事業者への研修を進めているところだが、バスの運転手に対して、ベビーカー利用者が乗車したことを想定し、ベビーカーマークの周知も含めて、どのような研修をしているのか。

○各社でどのような研修を行っているのか実態を把握できていない。

⇒バスは運転手と当事者との直接対応があるので、各事業者に浸透するような取組をしていただきたい。

○ベビーカーマークを知ってもらえるようなキットやツールを使って、教育の分野にも周知をしていただきたい。発信方法は柔らかくしてほしい。

○ベビーカーマークを見たことがないと回答しているのが50%いるのは驚きである。東京都市圏について、パーソントリップ調査が公表され、1日の1人あたりの外出の数値が減少しているとの話もあった。こういったものを使って分析をしてはどうか。

○今朝、NHKのあさイチでベビーカーについて特集をしていたが、こういった特集に取上げてもらうことはよいこと。手助けの際の声かけが大切。周囲の人が手伝いを名乗り出ても、遠慮して断られるケースが多いので、「お手伝いします」と声かけするほうが良い。

海外の人に対しても、ベビーカー優先スペースの利用について理解していただくためのポスター（PR）を作成してはどうか。

○小田急線と千代田線の乗換駅での出来事だが、フリースペースの位置が違うため、車椅子の方が乗換えるとき、苦慮していた。鉄道車両内のフリースペースの設置について、乗り継ぎの際の動線を配慮していただきたい。

○可動式コンパクト授乳室は、精神障害者の方のクールダウン施設等ほかにも良い使い道があるのではないか。また、成田空港で設置されたカームダウンは、外から気配が分かるようにしている。閉め切ってしまうと犯罪的な面で危険があるのではないか。開発するときにはそういったことも考慮していただきたい。

⇒7月に行ったベビーカーマークに関するインターネット調査は、性別、年代別、地域別に見て今後の周知に役立てようと考えて実施したもの。資料では、ベビーカーマークの認知とベビーカーを閉じないことへの賛否は、ある程度相関関係があると思わ

れるが、認知度が比較的低い女性の方や40、50代に対する対応をご示唆いただければありがたい。

○張ってある所にも問題があるかもしれない。ベビーカーマークを見たことがあるか聞いたときは分からないようだったが、後日、おしりのあたりにあったと話があった。ベビーカーマークは、利用者が意識しないと分かりにくく、混んでいるので見ていないし、見ようとしないと見えない。見える位置を考えることが必要と思う。意識する何かきっかけが大切。また、ポスターも保健所等、子どもが集まりやすい所に啓発することを考えてみてはどうか。

○認知度3割はかなり高い数値で、認知度50%はものすごい高い目標率だと考えている。かなりの方が認知していると思って良く、今の認知度は、そんなに心配する必要はないのではないか。

ベビーカーマークの張ってある箇所の話があったが、車両の外にも張ってあるので、多くの方がみているものと思う。

○若い人はインスタを見ている。ベビーカーマークで検索したが、ほとんど投稿はなかった。

<その他>

事務局から、バリアフリーのさらなる推進に向けて、「心のバリアフリー」などソフト対策を強化する必要があると述べた。また、座席の利用におけるポスター等による呼びかけについて、作成したポスターを駅や車内等に掲出する等の協力を依頼した。